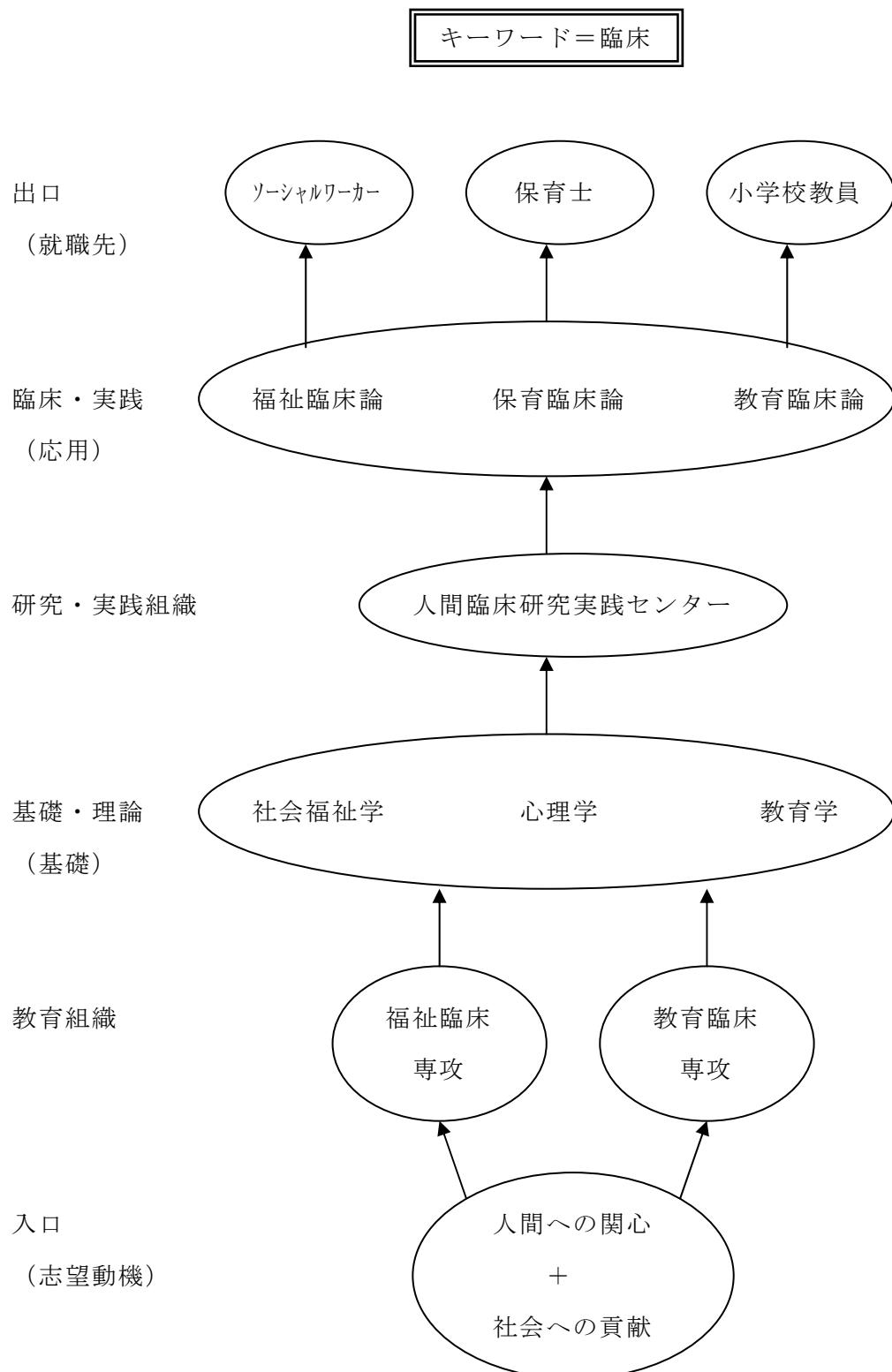


人間臨床学科の構想案



人間臨床学科教育臨床専攻（教育臨床学科）の構想理由

- (1) 国・広島県での教育改革に、教育の臨床・実践的研究及び初等教育・保育分野の人材養成により貢献する。また、経費負担が少ない公立大学であることを生かして、経済的にハンディキャップのある優秀な学生に、教育界へ貢献する機会を提供する。
- (2) 男女共学により、女子学生に加えて、男子学生の小学校教員と保育士養成を行う。広島大学、県内私立大学のいずれにもなくユニークな存在となる。
- (3) 退職教員の増加、教員の配置改善等により小学校教員の採用数が今後上向きになる。また、保育所待機児童ゼロ政策、保育ニーズの多様化等により4年制大学卒の保育士へのニーズは今後増加する。
- (4) 人間福祉学科における人間発達コースと社会福祉コースのコース制は問題が多く、学科または少なくとも専攻に分離して設置し、独立して学生募集をする。
- ① コースに分かれていらない1年次には、コース固有の専門教育の科目が開設できず、結果的に履修科目が教養教育、学科共通科目だけとなり、学生の専門教育への意欲をそぐ。
- ② 2年次、3年次に、免許・資格取得のための科目が集中し、学生の負担が大きい。また、過密な教育課程は教育的にも適当でない。
- ③ 人間発達系（小学校教員、保育士）と社会福祉系（社会福祉士、精神保健福祉士、社会科等の中・高教員）は免許・資格取得に必修となる科目が多く、それらの他に、他方のコースの科目を学生が履修することは現実に困難である。また、時間割編成も、人間発達系と社会福祉系を別々に行っている現状を大きく変えることには無理がある。